

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

房室結節リエントリー性頻拍の再発症例における臨床的・解剖学的特徴の探索的観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 外来医長 准教授 永嶋孝一

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2025年 12月 31日

<研究の目的と意義>

発作性上室性頻拍において、房室結節リエントリー性頻拍のアブレーションは、遅伝導路の焼灼により、高い成功率が期待できます。しかし、再発例も少なからず存在しており、その原因はまだ解明されていない点も多いのが現状です。再発例に対して、2回目のアブレーションを行った症例は稀であり、再発例の臨床的特徴と解剖学的特徴は確立されていません。今回、房室結節リエントリー性頻拍再発例のアブレーションを行った方の、非再発例との比較を行うことで、房室結節リエントリー性頻拍の再発率を低下させ、再発例に対しての成功率を増加させるべく、多施設で患者さんのデータを集め、再発例における臨床的特徴と解剖学的特徴の確立を目指します。

<利用する試料・情報の項目>

房室結節リエントリー性頻拍に対して、当院もしくは他院でカテーテルアブレーション施行歴を有し、アブレーション施行後の再発症例を認めた患者さんに対する、2回目のカテーテルアブレーションでの心電図や心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図、3D mapping system データを使用します。

<対象となる方>

2010年1月1日～2023年12月31日の期間に房室リエントリー性頻拍の再発例に対して、2回目の臓電気生理学的検査およびカテーテルアブレーションを施行した方。

<研究の方法>

上記患者さんのカテーテルアブレーション中に、心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図、3D mapping system のデータを使用します。またペーシングによって診断したデータも使用し、診断の確立を目指します。ペーシング手技はいずれも診断に必要であり、どの患者さんにも行っている、安全性が確立された方法です。また得られたデータを後から解析しますので、安全性には問題ありません。この検討により、不整脈回路をより迅速に、正確に診断することが可能となり、治療で難渋することや再発することを回避することが目的です。

<研究組織>

群馬大学医学部附属病院 循環器内科 金古善明
日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科 丸山光紀
北里大学病院 循環器内科 深谷英平 岸原淳
札幌心臓血管クリニック 循環器内科 北井敬之
上尾中央総合病院循環器内科 北村健
亀田総合病院 循環器内科 水上暁
東京慈恵会医科大学附属病院 循環器内科 徳田道史
東京医科歯科大学病院 循環器内科 西村卓郎
自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科 林達哉
小倉記念病院 循環器内科 福永真人
大阪ろうさい病院 循環器内科 松永泰治
三菱京都病院 循環器内科 川治徹真
埼玉医科大学国際医療センター 循環器内科 森仁
山梨厚生病院 循環器内科 浅川哲也
天理よろづ相談所病院 循環器内科 西内英
桜橋渡辺病院 循環器内科 岡田真人
姫路赤十字病院 循環器内科 寺西仁
神戸大学医学部附属病院 循環器内科 高見充
東京都立広尾病院 循環器内科 深水誠二 北條林太郎
筑波大学 循環器内科 野上昭彦

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

循環器内科 氏名：永嶋 孝一

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2413 (PHS) 8142